

AMPS (作業遂行技能評価) 評価シート

Assessment of Motor and Process Skills | Dr. Anne Fisher 開発

対象者氏名	生年月日 (年齢)	性別	評価日
診断名・主訴	評価環境	評価者氏名	キャリアレーション済

タスク選択 (必ず2つのタスクを選択・実施すること)

	選択基準: 対象者が馴染みのある・慣れ親しんだタスク 困難が観察できる適切な挑戦レベル タスク1(易)とタスク2(難)で難易度を変える 例 (P-ADL): 顔を洗う、歯を磨く、着替える、靴下を履く 例 (I-ADL): 朝食準備、サンドイッチ作成、コーヒーを入れる、薬の管理、洗濯物をたたむ、掃除機かけ
タスク 1 (より易しい)	タスク名: 難易度 (カタログ参照): logits
	対象者の説明・馴染み度: 環境: 自宅 病棟 デイ 模擬
タスク 2 (より難しい)	タスク名: 難易度 (カタログ参照): logits
	対象者の説明・馴染み度: 環境: 自宅 病棟 デイ 模擬

採点基準 (4段階序数尺度)	4点 Competent	3点 Questionable	2点 Ineffective	1点 Deficit
判定の4軸: 安全性・独立性・効率性・社会的受容性	遂行の流れに問題なし。努力・疲労・危険・非効率の徴候なし	わずかに疑わしい。安全性・独立性は保たれているが軽微な困難あり	明確な困難・非効率あり。安全性・独立性・効率性に影響が出ている	著明な問題。危険または著しく非効率。重大な困難・中断・危険あり

運動技能 (Motor Skills) 16項目 身体的遂行の質を観察・採点

			4点 Comp.	3点 Ques.	2点 Ineff.	1点 Defi.	
1	姿勢 (Posture)	安定させる Stabilizes					体を安定させバランスを保つ。不必要な支持物を使わない
2	姿勢 (Posture)	整列させる Aligns					体を垂直に整列させる。傾いたり曲がったりしない
3	姿勢 (Posture)	位置づける Positions					タスクや対象物に対し適切な位置に体を置く
4	取得・保持 (Obtaining & Holding)	リーチする Reaches					有効な弧を描いてオブジェクトに向けて腕・体を伸ばす
5	取得・保持	曲げる Bends					体幹・膝を適切に屈曲させて低い場所にアクセスする
6	取得・保持	握る Grips					オブジェクトを適切な力・形で把持する。落とさない
7	取得・保持	操作する Manipulates					指先・手でオブジェクトを器用に操作する (ボタン・蓋・道具等)
8	取得・保持	協調させる Coordinates					両手・手と体を協調させてタスクを遂行する
9	移動 (Moving)	移動する Moves					障害物を回避しながらタスク空間内を流れるように動く
10	移動	持ち上げる Lifts					オブジェクトを適切な力・姿勢で持ち上げる
11	移動	歩く Walks					タスク遂行に必要な移動を安全・効率的に行う
12	移動	運ぶ Transports					オブジェクトを適切な場所に運ぶ。こぼしたり落としたりしない
13	移動	調節する Calibrates					力・速さ・距離を適切に調節する (強すぎず弱すぎず)
14	遂行持続 (Sustaining)	持続する Endures					タスク終了まで適切な体力・持久力を維持する
15	遂行持続	ペースを保つ Paces					タスク全体を通じて一定の作業ペースを維持する
16	遂行持続	注意を向ける Attends					タスクに継続して注意を向ける。気が散らない・中断しない
計	運動技能 生スコア合計 (参考)		/64				生スコアはRasch変換の参考値。logitsスコアをソフトウェアで算出すること

AMPS (作業遂行技能評価) 評価シート

Assessment of Motor and Process Skills | Dr. Anne Fisher 開発

2 / 4 プロセス技能採点ページ

プロセス技能 (Process Skills) 20項目 認知的・組織的・適応的プロセスの質を観察・採点

			4点 Comp.	3点 Ques.	2点 Ineff.	1点 Defi.	
1	エネルギー (Energy)	ペースを保つ Paces					認知的ペース配分。タスクのペースが速すぎず遅すぎず適切に維持される
2	エネルギー	注意を向ける Attends					認知的注意。タスクに向けて注意を維持する。気が散る・停止しない
3	知識の適用 (Applying Knowledge)	選ぶ Chooses					タスクに適した道具・材料を正しく選ぶ (スプーンでスープ等)
4	知識の適用	使う Uses					道具・材料をその目的に合った方法で使用する
5	知識の適用	扱う Handles					道具・材料を適切・丁寧に扱う。不必要な破損・こぼし・損傷なし
6	知識の適用	従う Heeds					タスクの全体的な目的・ゴールに常に従って行動する。脱線しない
7	知識の適用	尋ねる Inquires					必要なときに適切に情報・確認を求める。不必要には聞かない
8	時間的組織化 (Temporal Organization)	開始する Initiates					各タスクステップを不必要な遅延なく開始する
9	時間的組織化	続ける Continues					各ステップを完了まで中断なく継続して行う
10	時間的組織化	順序立てる Sequences					タスクのステップを論理的・効率的な順序で行う
11	時間的組織化	終える Terminates					各ステップ・タスク全体を適切なタイミングで終了する。繰り返しすぎない
12	空間・物 (Space & Objects)	探す・見つける Searches/Locates					必要な道具・材料を体系的・効率的に探して見つける
13	空間・物	集める Gathers					タスクに必要なすべての道具・材料を作業空間に集める
14	空間・物	整理する Organizes					道具・材料・作業空間を使いやすく論理的に整理する
15	空間・物	元に戻す Restores					使った道具・材料を元の場所に戻す。作業空間を元通りにする
16	空間・物	ナビゲートする Navigates					移動中に障害物を回避する。家具・人にぶつからない
17	適応 (Adaptation)	気づく・反応する Notices/Responds					タスク遂行中のエラー・危険・環境の変化に気づいて反応する
18	適応	対処する Accommodates					問題が起きたとき行動を変えて対処する (こぼしたら拭くなど)
19	適応	調整する Adjusts					タスクを完了するために作業空間・条件を積極的に変える・調整する
20	適応	改善する Benefits					エラーから学んで同じ間違いを繰り返さない。効果的な学習転移
計	プロセス技能 生スコア合計 (参考)		/80				生スコアはRasch変換の参考値。logitsスコアをソフトウェアで算出すること

AMPS (作業遂行技能評価) 評価シート

Assessment of Motor and Process Skills | Dr. Anne Fisher 開発

3 / 4 スコアサマリー・解釈ページ

スコアサマリー・解釈 (Raschソフトウェアで算出したlogitsスコアを記入)

スコア種別	logitsスコア (ソフト算出値を記入)	カットオフ (目安)	判定	解釈・臨床的意味
運動スケールスコア (Motor ADL Ability)	logits	2.0 logits = 自立	自立 (< 2.0) 要支援 (1.0~1.9) 要介入 (< 1.0)	運動技能によるADL困難の程度。低い場合は身体的障害 (片麻痺・筋力低下・協調障害など) が主因
プロセススケールスコア (Process ADL Ability)	logits	1.0 logits = 自立	自立 (< 1.0) 要支援 (0~0.9) 要介入 (< 0)	認知・段取り・適応によるADL困難の程度。低い場合は認知症・高次脳機能障害・精神疾患などが主因

運動優位障害	低下 (< 2.0)	正常 (1.0)	身体障害主因 (片麻痺・筋力低下・関節炎)。認知は保たれている	身体機能訓練・補助具・環境調整
プロセス優位障害	正常 (2.0)	低下 (< 1.0)	認知症・高次脳機能障害・精神疾患主因。身体は動くが段取り困難	認知リハ・習慣形成・外的手がかり・環境単純化
複合障害	低下	低下	重度複合障害 (重度認知症・重度脳卒中後遺症)	包括的介入。優先度決定にAMPS両スコア比較を活用
両者正常	正常 (2.0)	正常 (1.0)	機能的ADL能力は良好	QOL・社会参加・就労支援に目標移行

AMPS (作業遂行技能評価) 評価シート

Assessment of Motor and Process Skills | Dr. Anne Fisher 開発

4 / 4 低スコア記録・観察所見・介入計画ページ

低スコア技能の重点記録 (2点・1点の項目を列挙し、介入計画に直結させる)

技能種別	項目名 (英語)	点数	観察した具体的問題行動 (記述必須)	推定される機能的問題	介入方針 (案)
運動 プロセス		2点 1点			
運動 プロセス		2点 1点			
運動 プロセス		2点 1点			
運動 プロセス		2点 1点			
運動 プロセス		2点 1点			
運動 プロセス		2点 1点			
運動 プロセス		2点 1点			
運動 プロセス		2点 1点			

全体観察所見・タスク別特記事項・介入計画まとめ

タスク1 観察所見	タスク2 観察所見	総合的ADL能力の解釈 (対象者・家族への説明文)	介入計画 (目標・方法・頻度・期間)

【重要】 AMPSの実施にはAMPS Project International認定のキャリアレーションコース (2~3日間) の受講が必須です。 | logitsスコアの算出にはAMPS Project公認のスコアリングソフトウェアを必ず使用してください。 | 生スコアの単純合計・平均はRasch変換前の参考値であり、単独での解釈は行わないこと。 | カットオフ値は地域在住成人の目安であり、年齢・疾患・生活環境を考慮した総合的解釈を行うこと。

参考文献: Fisher AG. Assessment of Motor and Process Skills, 7th ed. Three Star Press; 2006. / Fisher AG. Am J Occup Ther. 1993;47(4):319-329. / Park S, et al. J Rehabil Res Dev. 2003;40(4):319-326.